

# 高市首相台湾有事で米軍が攻撃受けた時「日本が逃げ帰ると日米同盟つぶれる」...自衛隊による対処を示唆か

2026/01/27 19:15 読売



島市首相（23日、首相官邸）＝米山要撮影

高市首相は26日夜のテレビ朝日の番組で、**台湾有事の際に日米が自国民退避で連携するシナリオ**に言及し、「共同で行動を取っている米軍が攻撃を受けた時、日本が何もせずに逃げ帰ると、日米同盟はつぶれる」と発言した。**自衛隊による対処の可能性を示唆したとみられる**が、「法律の範囲内で総合的に判断する」とも述べ、**あくまで状況次第だと強調**した。

台湾有事を巡っては、首相が昨年11月の国会答弁で、集団的自衛権を行使する「存立危機事態」になり得るとの認識を示し、中国が反発した経緯がある。

首相は同番組でロシアと**北朝鮮の連携**に触れた際、「いずれも核保有国」と述べた。佐藤啓官房副長官は27日の記者会見で、**発言は北朝鮮の核開発を指摘したもの**だとし、「北朝鮮の核保有は認められないとの政府の立場に変わりはない」と語った。

## 台湾有事めぐり「何もせずに逃げ帰ると日米同盟潰れる」 高市首相

2026年1月28日 0時11分 朝日

•

高市早苗首相（自民党総裁）は26日夜、各党党首とともに出演したテレビ朝日の番組で、**台湾有事に日米両国が現地に滞在する邦人や米国人の救出のため、共同で退避作戦を行う可能性があると指摘**した。そのうえで、首相は「（日本と）共同で行動をとっている米軍が攻撃を受けたとき、日本が何にもせずに逃げ帰ると、日米同盟は潰れる」と語った。

発言は、野党側からの批判に反論する中で出た。共産党の田村智子委員長が首相の台湾有事答弁について「**台湾海峡で米国と中国が武力衝突したら、日本は攻撃されていなくても、中国と戦争することができるとの発言だ**」と主張。首相はこれに対し、「**中国と米国が衝突したときに日本が出ていて軍事行動を起こすという話ではない**」と反論した。

首相はさらに「（台湾で）**大変なことが起きたときに、私たちは台湾にいる日本人や米国人を救いに行かなければいけない。そこで共同行動をとる場合もある**」と指摘。米軍が攻撃された場合、日本が対応しなければ、日米同盟の維持はできないとの認識を示した。

ただ、首相は「あくまでも法律の範囲内で、そこで起きている事象を総合的に判断しながら対応する」とも語った。

首相は昨年11月の国会答弁で台湾有事をめぐり「戦艦を使って武力の行使も伴うものであれば（日本が集団的自衛権を行使できる）**存立危機事態になりうる**」と発言。首相は発言を撤回しない一方、特定のケースについての言及は慎むとの考えを示していた。中国側は首相答弁に激しく反発し、経済的威圧を相次いで打ち出し、日中関係の険悪化は続いている。

中国外務省の報道官は27日の記者会見で、**今回の首相の発言について**問われ、「法律の範囲内で対応すると主張しながら、繰り返し**中国の内政に粗暴に干渉し、武力威嚇を行う**とは全く矛盾している」と批判した。

---

## 高市首相、台湾有事「逃げれば日米同盟つぶれる」米軍戦闘時に言及

衆議院選挙 2026

2026年1月27日 1:20 **日経**

高市早苗首相（自民党総裁）は26日、テレビ朝日番組で**台湾有事への対応を説明**した。日米が台湾にいる邦人らの退避作戦をするケースに触れ「**米軍が攻撃を受けたときに日本が何もせずに逃げ帰るところで日米同盟がつぶれる**」と話した。

首相は「**大変なことが起きたときに台湾にいる日本人や米国人を救いに行かなければいけない**」と退避作戦に言及した。「現在の法律の範囲内でそこで起きている事象を総合的に判断しながら対応する」とも話した。

首相は 2025 年 11 月の国会審議で中国が台湾を攻撃するケースに触れた。**中国が米軍に武力行使する場合に**関し「存立危機事態になり得る」と主張した。**政府が存立危機事態を認定すれば**自衛隊が集団的自衛権を限定的に行使し、米軍を支援できる。

中国は当時の首相答弁に反発し、日中関係が冷え込むきっかけとなった。首相は「政府の従来の見解に沿ったものだ」と訴え、**答弁の撤回を拒否**した。「**特定のケースを想定したことについてこの場で明言することは慎もうと思う**」とも語っていた。

**川島真**東京大学大学院総合文化研究科 教授

#### ひとこと解説

集団的自衛権をめぐる存立危機事態をめぐっては、**集団的自衛権を行使する対象はアメリカ**であるというのが基本線な筈だが、**11 月 7 日の国会答弁**ではそこまで明確にしていなかった。**今回の発言でそれがクリアになった**と言えるだろう。**「米軍の出動」の有無が存立危機事態成立の鍵になる**ということだ。

他方で、「**台湾問題の平和的解決**」とは何かという論点に即していえば、米中含めて皆定義を曖昧にしていた中で、存立危機事態をめぐる高市総理の一連の発言は「**台湾問題の平和的解決とはどのような状態か**」ということを定義しようとしている面もある。この点に中国が敏感になっている面もある。



**柯 隆**東京財団 主席研究員

#### ひとこと解説

台湾有事になったときに、**米軍と連携して在台湾の日本人を救出しにいくのは当然のことである**が、**それだけでは、不十分**である。台湾有事をほんとうに危惧されるとすれば、**台湾有事にならないような戦略**を持っているのかを聞きたい。今の議論はどちらかというと、**台湾有事が起きたら、どうするかの話**だが、**台湾有事を起こさせないための戦略はみえてこない**。狼少年になんて仕方がないので、ベストシナリオ、ベースラインとワーストシナリオに対応するそれぞれの戦略、すなわち、**プラン A、プラン B とプラン C**を作らないと。

# 高市首相、米中衝突時に日本が軍事行動起こす訳でない－台湾有事巡り

Photographer: Toru Hanai/[Bloomberg](#)

[Sakura Murakami](#)

2026年1月27日 at 18:35 JST

高市早苗首相は、仮に米国と中国が台湾を巡り衝突した時に、日本が軍事行動に出る訳ではないとの見解を示した。日本と共同で行動する米軍が攻撃を受けた場合は法律の範囲内で対応するとしている。

高市首相は26日夜のテレビ朝日の番組で、台湾有事の際は日米が両国民を救出するための共同行動を取る可能性があると発言。日本と「共同で行動を取っている米軍が攻撃を受けたときに、日本が何もせずに逃げ帰ると、日米同盟はつぶれる」と語った。

その上で、「現在の法律の範囲内で、そこで起きている事象を総合的に判断しながら対応するということだ」と説明。「中国と米国が衝突した時に、日本が出てきて軍事行動を起こすという話ではないこと、これだけは申し上げたい」と付け加えた。

これらの発言は首相の従来の見解に沿ったものだが、**台湾有事の具体的なシナリオについて若干踏み込んでいる**。高市首相が**中国による台湾侵攻は自衛隊が集団的自衛権を行使できる「存立危機事態」になり得ると**国会で述べて以来、数ヶ月にわたり中国との緊張状態が続いている。

高市首相は国会での発言が政策の転換を示すものではなく、自衛隊派遣に関する立場は変わらないと説明している。しかし、中国は発言の撤回を求め、自国民の日本への渡航自粛勧告や輸出規制で報復している。

高市首相は、政権基盤の強化を狙って衆院解散・総選挙に踏み切った。圧勝すれば、中国に対するより強硬な外交姿勢を含む政策を推進するのに必要な支持を得る可能性が高まる。

これまでのところ、日本の中国側の激しい反発への対応は控えめで、中国の主張で事実に反する点をただすことによどまっている。

高市首相は先週の記者会見で、日本は中国とのさまざまな対話についてオープンであるとし、中国との間で建設的かつ安定的な関係を構築していく方針を改めて表明した。

# 首相、テレビで北朝鮮を「核保有国」と発言 政府は公式に認めず

2026年1月27日0時03分 朝日新聞

党首討論に臨む自民党の高市早苗総裁=2026年1月26日午後1時44分、東京都千代田区、上田幸一撮影

高市早苗首相は26日夜、各党党首と出演したテレビ朝日のニュース番組で、北朝鮮と中国、ロシアを挙げた際に「いずれも核保有国」と発言した。日本政府は公式に北朝鮮を「核保有国」とは認めていない。

---

- 高市首相が言う「国論を二分する政策」とは 国のあり方問う9の焦点

首相は番組で外交・安全保障の戦略について問われ、「ロシアのウクライナ侵略に始まり、ロシアと中国の関係は非常に緊密で、北朝鮮とロシアの関係も緊密だ」と語った上で、「いずれも核保有国、そこに日本は国土を構えているという現実がある」と述べた。